

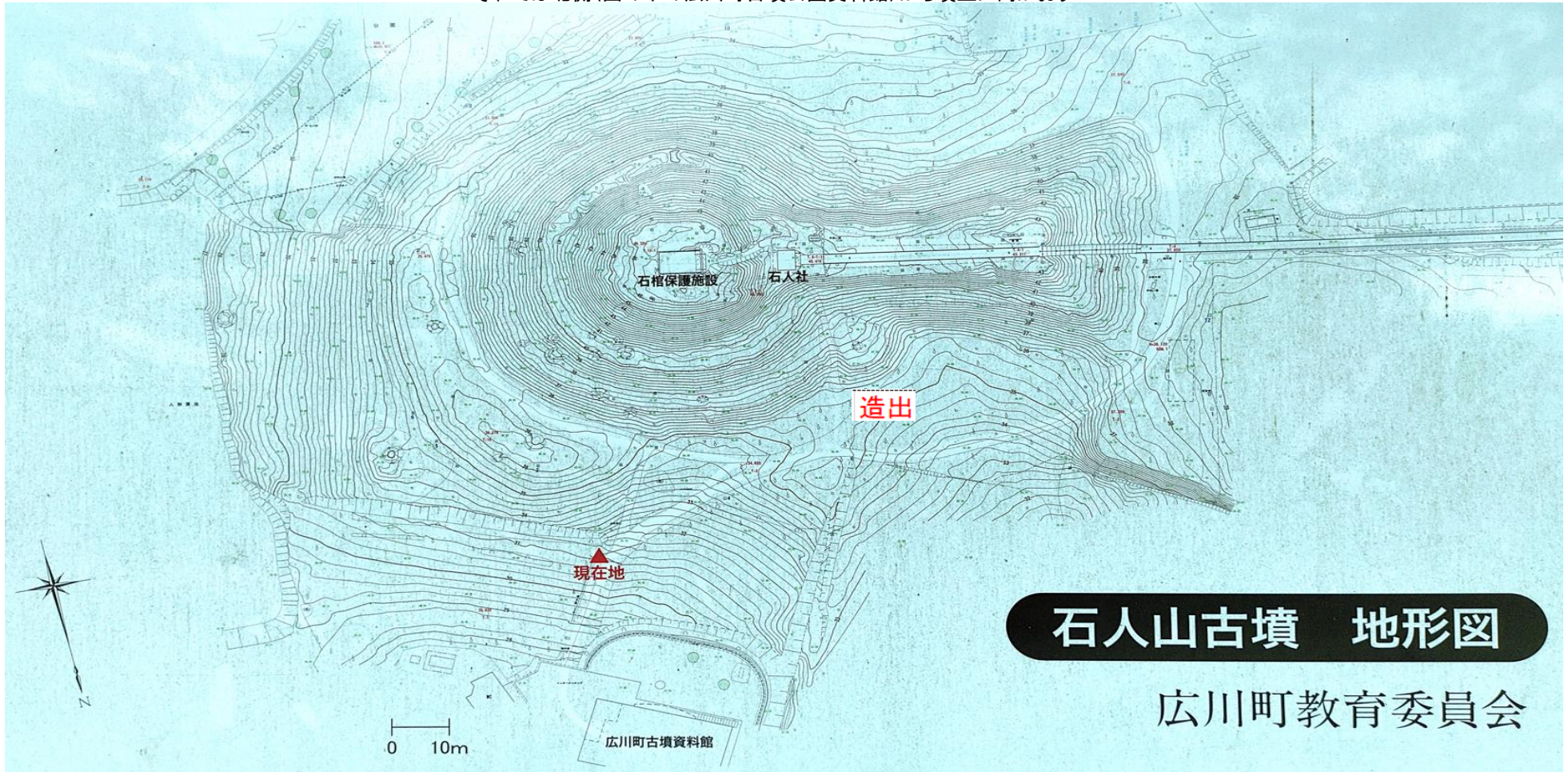
石人山古墳(八女郡広川町)

せきじんやま

ここは広川町古墳公園資料館/この背後に石人山古墳が存在する



それでは北側(図の下の広川町古墳公園資料館)から墳丘に向かおう！



石人山古墳 地形図

広川町教育委員会

前方の木々の中に石人山古墳が所在する

[video](#)



矢印に従って前方部方向へ進む/左手は墳丘



ここが前方部の後ろで、参道の石段が墳丘頂部に続いている

 video



後円部墳頂に続く参道を進むと、前方に建物が見え、右手には説明板が立っている

 [video](#)



石人山古墳

昭和五十三年三月二十四日
国指定史跡・八女古墳群として一括指定

この古墳は、岩戸山古墳（八女市）・石神山古墳（みやま市）と共に、石人を有することによって全国的によく知られます。

古記録に「貞享元年（一六八四）三月、一条村の南岡に石人を立つ云々」とあるように、石人そのものが神と認識され祭祀の対象ともなります。

古墳の形は「造り出し」と称する平担部を持つ前方後円墳で、前方部は二段に、後円部は三段に丘陵上に西面して築造され、周濠を有します。

出土した須恵器片や埴輪などの年代から推考し五世紀前半と考えられています。

主体部は、横二メートル・奥行四メートルの石室に、阿蘇溶結凝灰岩で造った、横口式家形石棺が納められています。棺蓋は寄せ棟型の屋根で、頭頂部の長さは一・九メートル・底部の長さは二・八メートルを測ります。

屋根の表面には重文・直弧文・三角文など精緻な彫刻が施されています。

棺身は四枚の板石を組み合わせて壁とし、高さは一・四メートル・長さは二・三メートルを測ります。

また墳丘のくびれ部には、古墳名の由来となった石人が立ち、短甲を着し武装しており像高一・九メートルを測ります。昭和五十一年六月五日国の重要文化財に指定されました。

規	模
全長	120.0m
前方部 高さ	11.3m
正面幅	63.6m
後円部 高さ	12.0m
径	53.0m
周濠幅	1.5m

平成三十年一月
広川町教育委員会

5世紀前半代に造られた八女地方最古の前方後円墳/岩戸山古墳を生前に造った磐井の祖父の頃の墓とされている/

これが前方に見えた建物/「石人社」と記された表札がある

 [video](#)



右手には説明書きのある石碑があった



史跡 石人山古墳
この岡は東西7KMもあり、古くから人形原とよばれ、北
幕末の矢野一貞と云つて、この台地の古墳群の西端に
の最も古い様式をもち、前方部で60M、後方部で45M
の築造とみられ、石人はこの古墳の名の起りを示す。
11.0M幅に立つて、向つて開く狭い石室は、横口式家形石棺は内文
。中方部に向つて、それにおさめられ、石人とともに九州の地方色を強
前て直く示している。
文化財保護委員会

水家つ半さる
ば造あ後長え
よ團に紀と云
と紫端を形示
石筑西を大形
形をの。を大形
人群群る式を
から墳墳あり、
か古古ては起
墳く大の墳丘の
古古のこ古墳45
山、地。本のて墳
人、台るが円部古
石あり、この後方
もこのてつ前方
史跡7KMは、つも
西貞と式をる60
東一ち様ら部石
は野あいみ月立
岡矢て古と後中央
この所る造幅に
幕の墓最築OM中
。のての11。方
。前て直く示

文化財保護委員会

それでは石人社の中を覗いて見よう！

 video



[video](#)



左横から見たところ



その建物の右手に回ると、前方(後円部)にもう一つ建物がある



これは横穴式石室と出土した横口式組合式家形石棺の覆屋



そこで振り返ると、武装石人の覆屋が見える

 video



アップで武装石人の後ろ姿を見たところ/武装石人が石室を守るように立っているのが印象的だ



それでは中を覗いて見よう！



昭和十三年八月八日
文化財保護法により重要文化財指定
この古墳の構造は、長峰丘陵の一部
を利用して築造した前方後円墳であり
ます。墳体は二段に築かれ全体の高さ
約二メートル、後円部の径約
五メートル、前方部の幅約六メー
トルあり周囲に空濠の跡が残っています。
また、後円部の前面には武蔵石を積み
上げた石段、小堂と定ころえ遺構が
残ります。江戸時代既に後円部の中
部に石段と石柱の基部は露出
して調査によりは明かれています。
昭和十三年三月二十五日、調査の結果
本古墳は石段の覆土を除くなど
石柱の内部を部分的に発掘し、その
結果重層式石段が彫刻されたと見ま
す。石段の基部が初めて発見され、石
柱の基部もまた見られるものです。
これが保存のため、昭和十二年五月
府教育委員会、二十九年三月、補修、昭
和十三年三月改築しました。

三川町教育委員会



これが横穴式石室に安置された家形石棺



さて、これは北側の墳丘下から括れ部辺り(武装石人の覆屋付近)を見たところ

 [video](#)



そこで、左手(後円部方向)を見たところ



同じく、右手(前方部方向)を見たところ

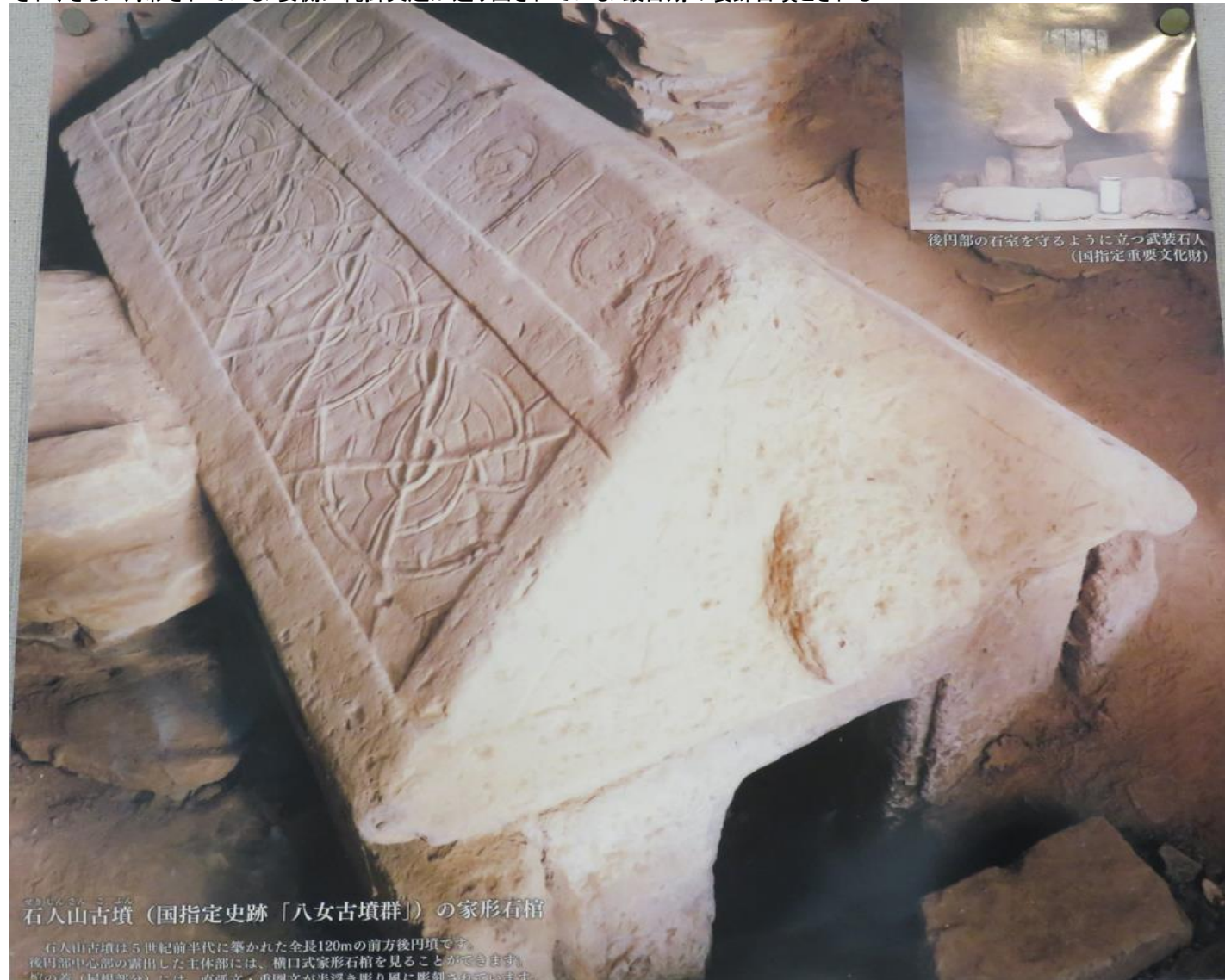


こちらは南側から墳丘を見たところ/武装石人の覆屋が見える

 video



広川町古墳公園資料館に掲示されていた家形石棺の写真/家形石棺外面には重圏文(二重丸の文様)と直弧文などが浮き彫りされ、さらに丹彩されている/妻側に縄掛突起が造り出されている/最古期の装飾古墳とされる



同じく、展示されていた石人山古墳の出土物



筑紫国のリーダーの系譜は石人山古墳から岩戸山古墳、そして鶴見山古墳の被葬者へと受け継がれていった/八女市岩戸山歴史文化交流館のキャプションより

歴代大王・天皇



首長墓系列図

